



いなほ

稲積神社社報

第40号

平成26年 新年号



第62回神宮式年遷宮
出雲大社 平成の大遷宮
奉祝記念事業

謹賀新年

宮司 権禰宜

責任役員

総代顧問
総代

崇敬会代表世話人

外郭団体

甲府伊勢講元
崇敬青年会会長
稲積睦会会長
敬神婦人会会長
崇敬会友の会会長
いなほ会会長
和会会長
いなづみ会会長

河崎久弥
大澤慶暢
長湊英規
丹澤起恵子
大森久丘
佐藤久良
山井康能
市村竜太郎

宮内川陸武
塩田好清
飯室博武
宮川武臣
丹澤正茂
齋藤武
小有尾武
有名泉
志取増昭
伊藤奈裕
河野裕泰
保田昌俊
神戸佳夫
神津佳明
根原康正
篠原東宮
土肥東宮
根津泰昇
権禰宜

神宮式年遷宮に参列して

宮司 根津 泰 昇



本宗と仰ぐ伊勢の神宮は第六十二回式年遷宮を迎えました。(神様の装束・神宝・調度品全てを作り直し新しい社殿に移す神事)二十年毎に繰り返される遷宮、何故二十年毎か問われる事が多い。幾つかの説はあるが古来から伝わるのは神殿造りの技術、新たに製作する装束、神宝、調度の技法、神事の伝承を伝える祭祀の厳修。又常に若くみずみずしいことを尊ぶ「常若」の精神に基づくと云われております。

遷宮を六十二回重ねると、途中中断があったものの千三百年続いているのであります。その時代の人間の寿命は大凡四十歳位と推測されます。故に二十年毎に遷宮を齎行しないと技術、技法、祭祀の厳修の伝承が困難になります。先人達はいつの時代も神宮に思いを寄せ「常若」の精神を伝承させる為に遷宮に携わっていたのであります。

今回の遷宮には十月二日外宮の遷宮に参列の栄を賜りました。十六時に受付を済ませ、二十時からの遷宮の儀を心静かに待ち受けました。定刻に「カケロー・カケロー・カケロー」とニワトリの鳴き声をまねる声が三度宮域に響き渡り、式年遷宮の遷宮の儀が浄暗の中始まりました。

天皇陛下の使者である勅使や臨時祭主を務める黒田清子様、(元清子内親王殿下、天皇陛下のご長女)皇族を代表して秋篠宮文仁親王殿下に続き、神職百二十名が玉砂利を踏みしめる「ザツザツ」の音と共に旧社殿に参進して参りました。

松明の灯りだけのなか絹垣(白い絹に覆われている垣根)のなかに鎮まる御神体が雅楽の音色に包まれて幻想的な雰囲気のなか厳肅に齎行されました。

出雲大社平成の大遷宮に奉拝して

恵比寿神社 惠比寿聖教 世話人 宮澤 國 男

六十年ぶりに齎行された平成の大遷宮に奉拝する機会を得て、心踊らせながら出雲路へと向かいました。

出雲は土砂降りの天候でした。夕刻礼服に着替え、交通渋滞が予想されるので、電車を乗り継ぎ出雲大社へと向かいました。

受付時にはあれだけの大雨の雨も止み、第一鳥居をくぐり宵闇迫る中、一万人を超す参拝者の列、仲間とはぐれないような人を分けて進む、



第六十二回神宮式年遷宮 出雲大社「平成の大遷宮」

奉祝事業実行委員長 小尾 武

神宮第六十二回式年遷宮、出雲大社「平成の大遷宮」の奉祝記念に合わせて、当稲積神社では神札所兼ねて社務所、神輿庫兼ねて神楽殿の新築が完成いたしました。神殿の周りの樹木も何本か伐採させていただいたので、神殿をはじめ境内全体が広く明るくなり、落ち着いて参拝していただける神社になった感じがします。参拝にこられた方も新たな気持ちでお詣りをしていただけることと思います。神札所兼ねて社務所もガラス張り、中からも外からも良く見えて、参拝者も心和まれることと思います。神輿庫兼ねて神楽殿は境内の西側に新築しました伊勢神宮、出雲大社の遥拝所としてはるか遠い所から拝む施設も兼ねておりますので、ゆつくりと拝んでいただけるものと思います。神社を初めてご家庭の神棚に手を合わせることに、神様は目には見えないけど心に安らぎと、息吹をあたえてくれることと信じていることが大切ではないかと

奉祝事業を終えて

思います。式年遷宮奉祝記念事業として神札所兼ねて社務所、神輿庫兼ねて神楽殿が経済低迷の時でございましたが崇敬者一人一人のご協力により、ご覧のようなすばらしい建物が完成いたしました。崇敬者の皆様に大変感謝申し上げますと共に、今後も一層のご支援ご協力をお願いする次第でございます。



根津泰昇宮司

山梨県神社庁

去る平成二十五年七月七日に、当神社宮司の「山梨県神社庁 庁長就任報告会」が行われた。

当日は午後五時より「式典」となり、先ずは丹沢総代顧問より発起人としての「経過報告と庁長の紹介」、小尾総代会長より「発起人代表挨拶」と進み、来賓挨拶では根津茂雄前宮司の親友であり、元副庁長 若宮八幡神社宮司 望月久男様より心のこもったご挨拶をいただいた。その後、祝電披露、記念品贈呈、庁長御礼挨拶と進み式典を納めた。

続いて「清興 古典落語」として、宮司と親交の深い立川談慶師匠に駆けつけて頂き、御祝いのお言葉の後、古典落語をご披露していただいた。落語には疎い私でも理解でき、楽しく拝聴することが出来た。

次に「祝宴」では、鏡開きを行い、恵比寿神社 秋山総代会長の乾杯の発声で開宴となり、祝宴中は「ポロアロハフラスタジオ」によるフラダダンス



庁長就任報告会

の祝舞の披露が行われた。総勢三十名でのフラダンスは迫力がありとても素晴らしく、祝宴に華を添えていただいた。納めは齋藤総代の閉会の挨拶を頂き幕を閉じた。

出雲大社遷宮に奉仕して

『昔と未来をつなげる「ハシ」となるべく』

権禰宜 根津 佳明

昨年、出雲大社より「六十年に一度の平成の大遷宮 本殿遷座祭」への御奉仕依頼が届きました。私も大学卒業後、出雲大社へ御奉職させて頂き、只今「おしえのにわ」の一員としてお仕えしている身体です。御奉仕を志願させていただいたとおり、今年に入り御奉仕許可がおり、この日お待ちわびておりました。

当日、大雨が降っておりましたが「大神様の贈り物」「大神様よりの幸せの雨」と話しておりましたら遷座祭直前には雨が上がりました。これも「無事に行えるようにとの大神様のおはからいだね」と皆で語り合いました。神職百余名がこの度の遷宮へ全国より集まり、夜にもかかわらず参列者も一万四千余



運 勢

宮司 根津 泰昇



午は昼で日中の光線が盛になる意をもっています。毎日で見ると昼が太陽と地上が最接近点にあつて太陽の熱が盛んな時をさします。ゆえに正午午時という。甲午年は盛んな年ではあるが、気を引き締めて諸事にあつて良き年になるでしょう。

四緑木星は陽気な雰囲気の中で諸事が整い、成長する意をもっています。☆一白水星(盛運期の順調運) 衰退期も抜けて運期の変わり目にかけていますので華やかさはないが平穩な年です。諸事を堅実に実行して結果がでます。

○平成二三年生 二十四歳 男性は本厄です。厄除祈願を受けましょう。 軽率な言動は慎み、慎重に行動する年。 ○昭和五十六年生 三十三歳 女性は後厄です。厄除祈願を受けましょう。 男女共良縁の導きがある年。諸事の先を見据え、慎重に堅実に行動して繁栄がある年です。 ○昭和四十七年生 四十二歳 男性は後厄です。厄除祈願

をお受けください。 繁栄発展の年ですが、今年 は土台作り専念する年です。しっかりと基礎作りをして下さい。 ○昭和三十八年生 五十一歳 危険が多い年ですので、物事を鵜呑みにすることなく、確信をもって確実に決定を下すことです。迷いをおこさぬ心構えが大切。 ○昭和二十九年生 六十歳 男性は本厄です。厄除祈願をお受け下さい。 諸事を慎重に吟味しないと、順調に進んでいるように感じるが落とし穴があるので注意。 ○昭和二十年生 六十九歳 運期の変わり目ですので築きあげてきた資産の管理に充分注意。諸事に堅実な行動を。

平成二十六年方位吉凶図

次の星の人は、万災除(生氣除除)「開運」のご祈願を受け、災難除御神徳をお授かり下さい。 ●凶方位に新築、増築、改築、開店、進出、遠方旅行、移転行為をする人 ●成破を受ける九紫火星の星の人 ●衰退運の九紫火星の星の人 ●變動運の四緑木星の星の人 ●暗剣殺を受ける三碧木星の星の人



ラッキー色 緑色 東北方(東北方)

Table with columns: 星 (Star), 誕生年 (Birth Year), 吉方位 (Auspicious Direction), 凶方位 (Inauspicious Direction). It lists stars like 一白水星, 二黑土星, 三碧木星, 四緑木星, 五黄土星, 六白金星, 七赤金星, 八白土星, 九紫火星 and their corresponding birth years and directions.

○凶方 北・北東・東南・南西・西北 ☆二黑土星(盛運期の後半運) 盛運期に入り運氣は増大してきます。諸事は発展、進展する年ですので新規事に着手することも良い年です。 ○平成年・昭和六十四年生 二十五歳 男性は後厄です。厄除祈願をお受け下さい。 運勢を受け始める歳になりました。今年が将来を見据え努力することが肝心な年です。 ○昭和五十五年生 三十四歳 諸事に恵まれ易い良い年ですが、警戒や慎重を怠ると、悪い面が表面に出ますので物事慎重に。 ○昭和四十六年生 四十三歳 運気が増大繁栄のある年です。新事の事柄に積極的に行動し

ても良い時期です。気を引き締める事も大切です。 ○昭和三十七年生 五十二歳 何事にも積極的に実行に移して成果があげられる年です。無理を重ねてきた事柄は順調に進まないでしょう。再出発の準備も必要。 ○昭和二十八年生 六十一歳 男性は後厄です。厄除祈願をお受け下さい。 業務上や金銭問題等で大きな小なり、問題が起きそう。速やかに解決することが必要。 ○昭和十九年生 七十歳 運勢も満願の年です。自我心を押え、今後の生活設計を立てる年。 ○吉方 北東・南 ○凶方 北・東・東南・西・西北 ☆三碧木星(盛運期の盛運) 運勢で頂点にある年ですので、仕事展、生活面においても繁栄発展の年。しかしながら暗剣殺を受けるので諸事注意も必要なので星除祈願を受けて下さい。 ○昭和六十三年生 二十六歳 自分から驕ると公事に問題を起こし易いので注意。病難にも注意。 ○昭和五十四年生 三十五歳 女性は前厄です。厄除祈願を受けましょう。 社会的に信用も得、交際も広く、目上の引き立ても受け繁栄、発展する年。女性は良縁や子宝に恵まれる。自惚れに注意。 ○昭和四十五年生 四十四歳 諸事は順調に進むが、気を引き締める事も大切な年。又散財にも注意。

○昭和三十六年生 五十三歳 努力を重ねてきた物事は成長、完成につながる年。気持ちの引き締めることが大切。 ○昭和二十七年生 六十二歳 順調に歩んでいくのが現実味として表れる年です。新規事をするには今年が向きません。心広くお過ごし下さい。 ○吉方 南西 ○凶方 北・東南・西北 ☆四緑木星(平運期の注意運) 盛運期から平運期への変動の年です。今年が動かず保守保全に努めて吉の年です。変化を起こすと今年のみならず尾を引く結果となりますので注意。 ○平成八年生 十八歳 女性は初めての本厄です。厄除祈願をお受け下さい。 諸事には平靜不動な姿勢を心掛ける事。 ○昭和六十二年生 二十七歳 諸事に動かず前を見据え努力を惜しまない言動で生活することに基礎造りが出来る年。特に神社参拝をするとすべて実る。 ○昭和五十三年生 三十六歳 女性は本厄です。厄除祈願をお受け下さい。 不安定な精神状態に陥り易い。自己制御が出来難く非難を受けやすいので常に自分を冷静に見ること。病難にも注意。 ○昭和四十四年生 四十五歳 保守保全に努めているなら、諸事も安定するので、他人からの引き立てもあり、繁栄の基盤作りの出来る年。 ○昭和三十五年生 五十四歳

軽々しい言動を取ると、強力な悪化作用を受け大波瀾を招くので慎重に自重することが必要。

◎昭和二十六年生 六十三歳
何かと積極的に大きな行動を起こしたくなるが、大きな行動ながら冷静な判断をするなら、成功の基礎作りとなる。

◎吉方 南西
◎凶方 北・東南・西北
◎諸事 見送り
◎五黄土星(平運期の順調運)
八方塞がりの年も抜けて、実りを作れる年になります。努力を惜しまず生活することにより、引き立てても多く希望が叶うこととなります。将来の為の基礎作りが良い年。

◎平成七年生 十九歳
女性は後厄です。厄除け祈願をお受け下さい。
変化運にありますので物事がスムーズに進みません。動かさそうとすると悪化作用が生じますので平穩に生活すること。

◎昭和六十一年生 二十八歳
他人事で奔走する事が多く、精神的に疲労が嵩むので、平静不動にしていること。
◎昭和五十二年生 三十七歳
女性は後厄です。厄除祈願をお受け下さい。

思いある諸事あれば、慎重に行動することにより繁栄・安泰の方向に進むでしょう。感謝の気持ちで神社参拝しましょう。
◎昭和四十三年生 四十六歳
物事が順調に進んでゆく面もあるが、反面多忙な為が目が届かない部分があり、非難を受けることもあるので慎重さも必要。

◎昭和三十四年生 五十五歳
諸事築き上げてきたことを慎重にすることにより、信頼を得て繁栄発展の基盤が作れます。反面不和事象もあるので注意。

◎昭和二十五年生 六十四歳
東奔西走の多忙な年です。物事を慎重に行わないと失敗の原因を生み出します。一見豊かに見えても気を引き締めること。
◎吉方 北東・東・南・西
◎凶方 北・東南・西北
◎諸事 開店、新築改築、移動、吉
◎六白金星(平運期の順調運)
順調な運期は前半ですので、決定事や諸事を納めるのは早めに行うこと。後半は諸事がスムーズに進行しなくなり、問題が起き易い。金銭事には特に注意。

◎昭和六十一年生 二十九歳
精神も安定さが増し信用を得る機会が多い。結婚の縁も有るが見極めることも大切。自信を持って行動すること。
◎昭和五十一年生 三十八歳
対外的に順調に物事が進んでいるように見えうらやまれているが、内心は苦勞が多い年です。物事に質素な考え方をもちこつこと。
◎昭和四十二年生 四十七歳
前半は慎重に行動し、着実に手腕に入れたならば保守保全に努めること好結果が生ずる。
◎昭和三十三年生 五十六歳
真面目に努力しても結果が伴わず順調に進まない年。焦らず慎重に判断しコツコツ進むこと。病難にも注意。
◎昭和二十四年生 六十五歳
今後の生活設計を立てるには良い年。対外的にも信用、名誉を得るが行き過ぎや自惚れに注意。

◎吉方 北東・南・南西
◎凶方 北・東・東南・西・西北
◎諸事 開店、新築改築、移動、吉
◎七赤金星(衰退期の注意運)
運勢が下降状態になる変化運です。迷い事悩み事も多く、方針が定まりにくいので実行する時には信頼する人に相談するとよい。

◎昭和五十九年生 三十歳
自我心が強く表面に出る傾向にあるので充分自我を見つめること。又孤立現象もあるので周囲に気を使うこと。
◎昭和五十年生 三十九歳
物事が順調であっても変化が生じる時ですので、しっかりと足元を見つめることが必要。流れに逆らうと離散事が生じます。

◎昭和四十一年生 四十八歳
大過なく物事が進んでいるように感じても良い結果が生まれない。物事に対し平静不動な精神が肝要です。
◎昭和三十三年生 五十七歳
諸事に積極策より消極策。前進策より退守策を選べば、信望や名誉を得、向上発展に繋がる。

◎昭和二十三年生 六十六歳
権威名声を失うような状態になり易い又一身上の事で何かと問題が生ずる。病難に注意。後継者を決めるには良い年。
◎吉方 東・南・西
◎凶方 北・北東・東南・南西・西北
◎諸事 前半見送り
◎八白土星(衰退期の順調運)
衰退期の中にあるが吉凶それぞれを持ち合わせている。名誉徳望を受ける象意もあるが反面隠事や旧事が表面化し、

争い事に発展することもある。即刻早急に処理する事。
◎昭和五十八年生 三十一歳
女性は前厄です。厄除祈願をお受け下さい。
仕事や生活が華やかになり易い傾向にあり、それが対外的には誤解を受け、不名誉な結果が生じるので、常に自身自身を見つめ直すことが肝心。
◎昭和四十九年生 四十歳
◎昭和四十年生 四十九歳
◎昭和三十年生 五十八歳
出費も多く人との分離、失敗事、移動しなくてはならないような事象があります。病難もあり。女性は凶意の強い年です。平静不動にすることが肝心。
◎昭和二十二年生 六十七歳
努力を重ねてこられた物事が対外的に認められ名誉徳望が得られる。引き続き物事を真剣に見つめることにより将来像が生まれるでしょう。
◎吉方 北東・東・西
◎凶方 北・東南・南・西北
◎諸事 開店、新築改築、移動、吉
◎九紫火星(衰退期の衰退運)
運勢の大底にあり冬籠もりする時です。物事が思うようになりません。焦らず足元を進みませぬ。

しつかり見つめ歩む年。今年には凶作用の歳破(他動的な凶作用を受け易い)や衰退運を受けるので星除祈願をお受け下さい。
◎昭和五十七年生 三十二歳
女性は前厄です。厄除祈願をお受け下さい。
吉福を受ける年で何かと行動を起こしたくなる時ですが、思うようには進みませんので、エネルギーを蓄えることに努めて将来あり。
◎昭和四十八年生 四十一歳
男性は大厄です。厄除祈願をお受け下さい。
華美豪勢になり、対外的に誤解誹謗を受け易いので言動に注意が必要。怪我、病難にも注意。

◎昭和三十九年生 五十歳
自我心を強く出すと、人との離散や精神的に重いものを感じます。経済的にも思うようになりません。私生活も悩み事多い年です。将来の進み方を考える時です。
◎昭和三十年生 五十九歳
男性は前厄です。厄除祈願をお受け下さい。
内面的に努力を積み重ねてきた諸事に対しては、援助や引き立てを受け良好に進むでしょう。努力を惜しまず行動とれば前途は希望が持てます。
◎昭和二十一年生 六十八歳
物事に天恵薄く、心労多い時です。一時は大過なく進んでいるように見えても陰には難がありますので注意。平静不動の精神を大切に下さい。
◎吉方 東
◎凶方 北・東南・南・西北
◎諸事 見送り

◎吉方 北・東南・南・西

◎諸事 見送り

崇敬青年会三十周年を迎えて

崇敬青年会会長 大澤 慶 暢



元旦の甘酒配布です。数百人分の量を造るので、大鍋に何回にも分けて、ペロメーターを頼りに味付けしたり、焦げないように火加減を調節し、かき混ぜ続けるのがけっこう大変でした。これが主に青年会の大きな事業です。

その他には年に一回の全国大会参加で、全国各地で、行

全国氏子青年協議会に参加して

～神宮の地で同志集まる～

権補宜 根津 佳明

去る平成二十五年八月十日～十一日、三重県伊勢市にて「全国氏子青年協議会第五十一回定期大会 三重大会」が全国より総勢五百名の参加により開催されました。

稲積神社崇敬青年会として、全国氏子青年協議会へ所属しているのが毎年参加しています。今年は五名の精鋭で行ってきました。

今回の開場は、「我が母校、皇學館大学」でしたので懐かしい思いで大会へ参加してきました。

われ今年は三重に行ってきた。大会もさることながら、やはり懇親会で親交を深めることが一番の楽しみです。関係各位にあらためて御礼申し上げます。

役不足の私ではありますが、青年会等に御協力いただいた方々にはあらためて感謝申し上げます。今後ともよろしくお願ひ致します。最後に青年会では会員を募集しておりますので、お知り合いを紹介していただければ幸いです。

全国敬神婦人大会(旅)に参加して

敬神婦人会監事 中村 節子

九月三日創立六十五周年記念、第六十四回大会が島根県で実施されました。今年はお雲大社六十年に一度の「平成の大遷宮」にあたり当県で開催されたのです。山梨県からは総勢二十一名のうち稲積神社からは七名の方々が参加し、二、三日前からの台風心配もありちよつと不安な気持ちでしたが、朝六時秋風の心地良さを感じながら皆元気で神社を出発しました。

会場は島根県民文化会館大ホールで皇室出の池田厚子様をお迎えし約一、六〇〇人の会員で場を埋めつくしました。午後一時三十分よりのオープニングは舞と生き舞を伝える岩見神楽の「八岐大蛇」が共演されダイナミックな舞のすばらしさの感動は今でも目前によみがえってきます。この

後式典が開催され北白川慶子会長の式辞の後、記念表彰があり全国で五団体個人四三三名で県から(敬) 土橋京さん、渡辺敏子さんが表彰されました。ます神宮祭主「池田厚子」様のお言葉もいただき後諸事



第四十八回伊勢講に参加して

稲積神社権禰宜 神 戸 昌 夫

十一月十九日から二泊三日で今回は記念すべき二十年毎の伊勢神宮式年遷宮参拝、新穀感謝祭参列と併せて京都北野天満宮参拝旅行に参加しました。

十一月十九日早朝バス四台を連ねて甲府を後に一路関西へ出発しました。途中休憩をはさみ昼前最初の参拝予定の北野天満宮へ到着しました。北野天満宮は当稲積神社に祀られている天満天神社の本宮であります。正式参拝を済ませ京都市内で昼食の後、東山周辺の紅葉を楽しみ、夕方今晩の猿蓑湖温泉に着きました。

翌朝琵琶湖温泉を後に大原三千院に向かいました。三千院拝観後いよいよ今回の主目的である伊勢神宮へバスは走ります。ここで式年遷宮についてちよつと触れてみたいと思います。八年前の平成十七年春遷宮の開始を告げる山口祭の祭儀から始まり三十三の諸祭行事を斉行して式年遷宮は全うしました。この祭儀の中には皆様ご存知の御木曳行事御白石持行事等も含まれます。さてバスは、途中ハブニン

グがありましたが無事外宮に到着し、手水で身を清め真新しい神殿に向かい厳肅に御垣内参拝を行いました。身の引き締まる思いでございます。今日の行程は終了し、定宿の鳥羽へバスは向かいました。ホテルにて入浴、宴会等であつろぎ明日に備えました。

翌日、早朝にバスは出発し参拝旅行の最終目的である内宮へ到着です。真新しい宇治

大神社展に行つて

和会会長 山土井 康 能



橋を渡り玉砂利をサクサク踏んで手水場で身を清め、真新しい神殿の御垣内参拝、御神楽奉納拝観を厳肅にすませ今回の参拝行事をおえることが出来ました。おかげ横町で昼食を済ませ、高速道路をひたすら走り夜半無事甲府へ到着しました。

平成二十五年五月二十五日、清和高校午前六時四十三分出発予定だ!! 小生はバスの前席に鎮座した。後部座席が多数空いている様だった。 出発五分前女性軍団が乗り込んで来た。

口々に「おはようございます」の元気な挨拶に笑声。実に賑やかである。 六時四十五分いよいよ出発。途中数人を拾いバイパスに入り宮司さん等々挨拶も終わり

いざ「大神社展」に向かう。後部座席はまだ賑やかである。その内に後部より手造りケーキ・アメ・様々の食糧が頻繁に回ってくる。 朝メシ抜きの食糧難の小生は大変満足。

到着。天候も最高だ。広々とした上野公園内に「大神社展」の大きな看板発見。 展示の内容は九十一世紀頃の目には見えない日本の神がさまざまなかたちで表された神像が日本全国より集合。

まさに神々のパワーをフルに戴いた感であった。それから蔵前国技館となりで昼食チャンコ鍋定食とビールで満腹。 満腹者に乗せたバスは墨田区・台東区と東京の下町を車窓に上野駅を右手に通過し湯島方面に向かう。

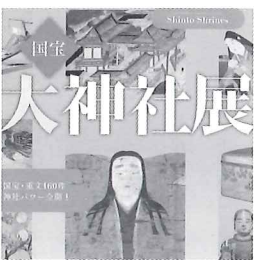
「東風吹かば匂ひおこせよ梅の花あるじなしとて春な忘れそ」の御歌で有名な学問の神様と言われている「菅原道真公」が祭られている湯島天満宮に参拝。丁度例大祭で賑わっていた。

小生も以前湯島天神山、南端の神田明神下銭形平次親分の近くに数十年前住んでいた頃の散歩コースだったので懐かしい思いでにふけていた。 東京の下町風情を体感し、帰甲する頃にはコミュニケーションよろしく稲積神社崇敬会の絆が深まった楽しい一日だった。

境内社の祭典

十月四日金刀比羅神社の例祭が斎行されました。 今年第六十二回神宮式年遷宮にて、内宮・外宮の御正宮の遷御が斎行され神宮の参拝者も一千万人を越えています。

金刀比羅神社の本宮、金毘羅宮も江戸時代には、神宮への「お陰参り」につぐ庶民の憧れのお参りだったと伝えられています。それを象徴する「金毘羅船々追風(おいて)に帆かけてシユラシユシユまわれは四国は讃州(さんしゅう)那珂の郡(なかのこおり)象頭山(ぞずさん)金毘羅大権見(だいがんげん)一度まわれば」という民謡がありますが、象頭山とは、金毘羅宮の鎮座する名で、権見とは、日本の神々を仏教の仏が仮の姿で現れたものとする本地垂迹(ほんじすいじゃく)思想による神号であり明治維新の神仏分離などが、実施されるまでは、真言宗、象頭山松尾寺金光院であり、金毘羅宮と改称され今も多く人々の崇敬を集めている御分霊を祀っています。



当社に伝わる古絵馬

稲荷神の神使いの狐二匹が向かい合い狐が鍵をくわえている図柄は「子宝の扉を開く、宝箱の鍵を開ける」ということから、子授けのご神徳があるといわれています。又「運氣を開く」「願い事が叶う」絵馬として、古来より信仰されています。新年を迎え願い事を書き、この一年のご神徳をお授かり下さい。



元日 (正月) の意味

元日は大年神様を家にお迎えする日です。神様は紙垂や門松が飾られている家の床の

間に降臨いたします。七草まで家族と共食し、一年の平安を授けて下さいます。

新年の迎え方

正月飾りは十二月二十九日と三十一日を除いた日に神棚を始め、家の所々に飾りをつけ、新年を迎えましょう。御質問は神社にお尋ね下さい。

正月飾りの送り方

正月飾りも一月七日七草の日には敷地内の恵方(東北東)の方位に束ねて送ります。そしてどんど焼きでお焚きあげしこの一年の安泰を祈りましょう。

月始祭のご案内

当社で毎月一日の十時に月始祭が斎行されています。この神事は前月に感謝し、身を清める大祓詞を奏上し、本月が平穩に過ごせるよう祈願する神事です。

各月々の色御幣をお頒ち申し上げております。どなたでもご参列になれます。今年も足を運んで頂き、神様のご神徳をお授かり下さい。
初穂料 千円以上

安産祈願の由来

安産祈願は神様に参詣し懐妊の報告と無事出産を祈願する行事です。

戌の日が選ばれるのは犬が安産であったため犬にあやかつて戌の日に祈願するようになりました。近年はご都合の良い日を吉日と定めお参りなさる方も多くなりました。

平成26年 戌(いぬ)の日カレンダー

1月	3(金)・15(水)・27(月)	7月	2(水)・14(月)・26(土)
2月	8(土)・20(木)	8月	7(木)・19(月)・31(日)
3月	4(火)・16(日)・28(金)	9月	12(金)・24(水)
4月	9(水)・21(月)	10月	6(月)・18(土)・30(木)
5月	3(土)・15(水)・27(火)	11月	11(火)・23(日)
6月	8(日)・20(金)	12月	5(金)・17(水)・29(月)

新年祈願のご案内

平成二十六年甲午年を迎え元日〇時より、新年祈願祭を斎行しております。家内安全・商売繁昌・厄除・合格祈願等随時行っております。
初穂料 五千円以上

平成二十六年厄年表(数え年)

男の厄年			
前厄	24歳 平成3年生	41歳 昭和49年生	60歳 昭和30年生
本厄	25歳 平成2年生	42歳 昭和48年生	61歳 昭和29年生
後厄	26歳 昭和64年生 昭和65年生 平成元年	43歳 昭和47年生	62歳 昭和28年生
女の厄年			
前厄	18歳 平成9年生	32歳 昭和58年生	36歳 昭和54年生
本厄	19歳 平成8年生	33歳 昭和57年生	37歳 昭和53年生
後厄	20歳 平成7年生	34歳 昭和56年生	38歳 昭和52年生

数え年とは、満年齢に誕生日前には一歳誕生日後には一歳を加えた年です。

恵方参りのご案内

恵方参りとは、その年の天の恵みが満ち溢れている場所です。神聖な場所の神社にお参りし、神様の尊いご神縁を授かるお参りが、恵方参りといえます。今年の恵方は甲(きのえ・東北東)です。

日程

平成二十六年 正月三日(日)
正月四日(月)

会費 二四、五〇〇円

行程

23日	甲府各地 --- 出雲大社常陸分社(正式参拜) --- 那珂湊漁港・昼食・お買い物 --- --- スパリゾートハワイアンズ
24日	スパリゾートハワイアンズ --- 小名浜海産物ショッピング --- --- 水戸偕楽園/常磐神社・参拝: 昼食 --- --- 甲府各地

稲積神社

命継ぐ食もの衣もの住むいへも
稲荷の神の恵みなりけり
正ノ木稲荷大明神

甲府市太田町公園内鎮座
電話 (055) 233-5573
FAX (055) 226-0787

稲積神社